



Rotary Club of SUGITO

杉戸ロータリークラブ週報

2009～2010 年度 RI のテーマ

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

会長 大作 茂 幹事 篠原達幸

第 1994 回例会 (2009 年 9 月 8 日)

《ガバナー公式訪問》



点鐘

ロータリーソング

お客様

第 2770 地区ガバナー

第 6 グループガバナー補佐

大作会長

「我等の生業」

大塚信郎様

染谷英壽様

会長挨拶



大塚ガバナー
におかれまして
は連日のクラブ
訪問、残暑の中
本当にご苦労様
です。当クラブ

も創立以来 40 年になろうとしておりますが、

会員減少と会員増強の狭間にありまして努力・
工夫が必要と切に感じております。

本日は会長・幹事との一時間の素晴らしい会
談、はたまた例会での卓話、クラブ協議会とお
疲れだと思いますが、良きアドバイス等お願い
いたします。大塚ガバナーは大変お酒がお好き
だとお聞きしたのですが、本日は当クラブ終了
後、松伏の公式訪問があるとのことで懇親会は
出来ませんでした。また、機会がありましたら
是非ゆっくりと美味しいお酒でも飲みいらし
て下さい。本日はよろしくお願いいたします。

幹事報告

篠原幹事



杉戸中央 RC より創立 15 周年記念事業
(チャリティゴルフコンペ) のご案内がき
ております。

日時 平成 21 年 10 月 21 日 (水)

会場 鷹ゴルフ倶楽部

参加費 1 人 4,000 円

第 6 グループガバナー補佐 (染谷様) より
2010～2011 年度ガバナー補佐候補者推薦の
お願いがきております。

「友」インターネット速報 No. 396 が

例会日： 火曜日 12:30～13:30 例会場：埼玉りそな銀行杉戸支店 3F

事務所： 杉戸町杉戸 2-12-26 埼玉りそな銀行杉戸支店内

TEL 0480 - 34 - 1716 FAX 0480 - 34 - 1360

届いております。

米山奨学生への10月分～3月分奨学金支給
についてのお願いがきております。

大宮アルディージャより埼玉スタジアムへ
のご招待の文書がきております。

委員会報告

親睦活動委員会

落合会員



まず親睦とはあまり関係はないのですが今新型インフルエンザが流行っておりますので、

対策資料を皆さんにお配りしました。毎日のようにテレビのニュースで新型インフルエンザのことをやっていますが、現在はワクチンが1,200万人～1,900万人分くらいしかないということで、まず医者や看護師等医療関係者に接種し、次に子供や妊産婦、老人等に徐々に接種していくようです。それでは我々のように対象にならない人たちはどうしたらよいかということで、近隣の保健所の一覧表をお配りしました。熱があると医療機関も慎重な対応をしますので、何かあったら近くの保健所に相談をするのもよいと思います。10月末までには外国からの輸入もあり4,500万人分くらいのワクチンは用意出来そうですが、自分達で出来ることは気を付けて新型インフルエンザにかからないようにしましょう！

**手洗い・うがいの励行(マスクの備え、用意)
症状が出た方のマスクの着用、外出の自粛、
人に咳やくしゃみをかけない等のエチケット。**

次に秋の日帰り旅行のご案内をいたします。

日時 平成21年11月11日(水)

行き先 沼田・赤城山方面

(天狗寺とりんご狩り・赤城山紅葉狩り)

天候と道路事情により多少変更になることもありますが、夕食は美味しいカニを食べる予定ですので奥様方も大勢参加して下さるようお願い致します。

卓話

大塚ガバナー



ガバナーの公式訪問の目的としてRI会長のメッセージを伝えることと会員増強、ロータリー財団、米山の寄付をお願いすることがあります。増強につきましては先ほどの懇談で手形を頂きましたので安心致しました。また、R財団、米山の寄付につきましては、杉戸クラブは毎年目標を大幅に達成しておりますので大丈夫だと思います。

ではこれからパワーポイントを使って卓話をしますのでよろしくをお願いします。

まず自己紹介ですが、本籍は福島県喜多方市でその後軽井沢町で育ちました。父がロータリアンだったものですから、ロータリーの思い出はクリスマス家族会等で美味しいものを食べた記憶があります。私たち1人ひとり、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているたとえることができます。この鎖が解けることなく永続していくためには、個々の輪が強くなってはなりません。ロータリーの未来への鎖を堅固なものに鍛え上げることは、私の責務であり、皆さんの責務です。今年より来年、また、来年より再来年、さらにロータリーを強くしていくことは、私たちの責務です。国際ロータリーは確かな未来を築くため、世界中のロータリアンから協力を得て、**7つの優先項目**を掲げた長期計画を立てました。今、この計画を実行に移す時がやってきたのです。

ポリオを撲滅する

ロータリーに対する内外の認識と公共のイメージを高める

他者に対するロータリーの能力の増大を図る

質的にも量的にも会員組織を世界的に拡大

する

ロータリーの独特の職業奉仕への取り組みを強調する

国際ロータリー内の指導的才能を最大限に活用し、育成する

組織全体を通じて継続性と一貫性を保つために、長期計画の手順を完全に実施する

は、クラブ、地区、国際レベルで毎年指導者が交代する際に、引継ぎが効果的に行えるようにすることが目的です。これを実施するのは皆さんです。RI 会長が、皆さんのクラブに入会するようにと新しい会員を誘うことはできません。また、RI 理事会がポリオ撲滅の支援に向けて、皆さんの地域で募金活動を企画したり実施したりすることもできません。同様にシニア・リーダーが、皆さんの職場でロータリーの倫理規範を実践することもかないません。すべては、皆さん自身が実行しなければならないのです。**ロータリーの未来はあなたの手の中にあります。**私たちの任務は、地元と国際社会において必要とされる奉仕を提供すること、そして、事業と専門職務に携わるリーダーを新会員として誘い、地域社会で好ましいイメージを築きながら、クラブの器を広げていくことです。ロータリアンとしての私たちの職務には、職場と私生活において倫理的行動の規範を示し、クラブと地域社会においてリーダーの役割を務めることです。また、ロータリアンという仕事には、計り知れない恩典があります。私たちは、かけがいのない親睦を享受し、他者のために尽くすという個人的ないきがいを得ることができます。皆さんがロータリーとその力を信じるのであれば、今こそ立ち上がり、全身全霊でロータリアンとしての仕事に全力投球する時です。**ロータリーの未来はあなたの手の中にあるのです。**

今年度の会長賞プログラムは、取り組みがいのある数々の活動を項目として挙げており、これらは長期計画のはじめの6つの優先項目に関連しています。これらの活動が、四大奉仕部門ならびに強調事項である**保健と飢餓救済、識字率向上、水**の分野に取り組む機会であることがお分かりいただけるでしょう。

地区のスローガンは寛容の精神と慈愛の心に満ちたロータリアン「**今こそ私たちの出番です**」です。百年に一度といわれております昨今の世界同時不況。こんな時こそ私たちロータリアンが長年にわたり培ってきた他の人々を思いやる奉仕の精神、「超我の奉仕」の出番です。世界に出でて、人類のために活動しましょう。

・CLP について

今年度はCLPの初期完成年度であり、尚且つ次年度へ向けて改善検討年度であります。CLPではクラブに合った組織編制を行うことができます。これは、クラブが過去の活動を総括し(棚卸)、それを基に中・長期計画を立て、全会員でこの中・長期目標を共有し、奉仕活動を展開し易くするための方法です。ただ単に組織改変だけが、CLPの目的ではありません。しいて言えば、クラブ会員全員で「クラブの長期計画を共有する」ことが、真のCLPの目的といえましょう。

・ロータリーの綱領の唱和

私は、地区内全ロータリークラブで**毎月1回は「ロータリーの綱領を唱和」**する。このことを提案しております。今一度ロータリーの原点を学びなおすために、ロータリーの綱領を唱和し、理解を促し、ロータリーの基本を見つめなおしていただくことを提案いたします。

・特別委員会設置について

今年度より地区に2つの特別委員会を立ち上げます。その一つが地区研修委員会です。もう一つは、ロータリー・リーダー・シップ研究会です。「将来のクラブ内の指導者養成を」との考えの下、岩淵年度より検討実施されたものを、今年度より正式に特別委員会と致しました。

具体的目標

全クラブでRI会長賞に挑戦

会員増強に取り組みます

地区平均出席率を95%に

ロータリー財団寄付を一人当たり250ドル

ベネファクターを1クラブ当たり1名

米山記念奨学会寄付を一人当たり20,000円

出席報告

鈴木会員

月日	会員数	出席	欠席	MU	出席率
9/8	25	18	9	5	84%

スマイル報告

鈴木会員

染谷様・・・大塚ガバナー公式訪問例会、お世話になります。

大作会長・・・大塚ガバナー、染谷ガバナー補佐、本日はありがとうございます。緊張しました。

関口会員・・・大塚ガバナーようこそ！あまり飲み過ぎないように注意して下さい！

落合会員・・・大塚ガバナーご苦労様です。今年はお米が豊作だそうです。ところで例会出席も大勢出席していただきたいですネ？！

大塚ガバナー、染谷ガバナー補佐ようこそ！宜しくお願いします。以下同文・・・長岡会員、篠原幹事、下津谷会員、小川会員、舟越会員、渡辺良一会員、渡辺孝会員、田中会員、井上会員、細井会員、渡辺洋子会員、新井会員、鈴木会員

本日投入額	31,000円
累計額	197,500円

クラブ協議会

紙面の都合上ガバナーの講評のみを掲載いたします。



《長期及び年次目標委員会》



CLPを導入して3年目になりますが、CLPの考え方を改めて頂きたいと思えます。多分どちらのクラブも5年ごとに記念誌を発行していると思

いますが、周年事業の記念誌までが棚卸の単位として下さい。ですからこちらのクラブでしたら35周年以降の36年からの棚卸をして40周年の記念事業が出来るわけです。上尾ロータリークラブも45周年が終って、次は50周年の新たな目標に向かって行く訳です。是非来年の40周年に向かって目標を決め、成功をすることを祈っています。

《会員増強及び広報委員会》

職業分類の生かし方はどのようにしています



か？どのように活用したらよいかと思いますと、杉戸・宮代地区でロータリーに入会してくれそうな人を探すのが分類で

す。可能性のある職業を探し出して分類表に加えていく。例えば、こちらのクラブには歯医者さんが1人もいません。いきなり入会してもらわなくても、例会に呼んで皆さんの身近な話題（入れ歯や義歯）について卓話をしてもらうのも、一つの方法だと思います。そして、ロータリーの例会を知ってもらい、興味があったら入会を誘ってみるのも良いと思います。分類を有効に使って下さい。

広報については、皆さんホームページを見ていろいろと比較をし、こちらのクラブがいいかな・・・と入会する方もいらっしゃいますので、正しい情報をより細かく提供して欲しいと思います。

《クラブ運営委員会》

プログラムに関しては、若い人に「卓話・卓話」というと億劫になって例会に出席なくなってしまいますので、自分の知り合いの人や是非皆さんに紹介したいような話をしてくれる人を呼ぶのも良いと思います。外部の卓話者をお願いすることで増強にもつながることもありますので、検討してみてください。

出席については、週報に出席率が載っておりますが、これが確定なのか暫定なのかわかりません。2週間のメーキャップ期間がありますので、修正等も必要かと思えます。

親睦については楽しいこと、楽しいことをどんどん考えて頂ければよろしいかと思ひます。

《奉仕プロジェクト委員会》

奉仕プロジェクトについては今までは内なる奉仕、これからは他者への奉仕活動をするべきだと思ひます。職業奉仕としての中学生の職場



体験、(3 days チャレンジ)や高校生の職場体験(5 days)等は非常に有意義だと思ひます。高校生について

では中途退学者が多く、ワースト1~3だった学校が職場体験を経験することで17位くらいまで改善され、県から委嘱状ももらいました。内なる奉仕としては、健康保持増進のプログラム等は良いのではないのでしょうか。

社会奉仕と新世代は分けたほうがよいでしょう。社会奉仕活動として図書の寄贈や皆勤賞の表彰、産業祭への参加等素晴らしいと思ひますので、その際にポリオ撲滅のポスターを貼っていただけたらと思ひます。

新世代については今まではインターアクト・ローターアクト・ライラがありましたが、青少年交換も今までは国際奉仕でしたが、新世代に移す方向で検討しています。先日14名の最終面接をしましたが、まだホストクラブが決まっていない子が4人います。皆さん、自分の子どものことを考えてみて下さい。どこの国へ行くかわからないが、1年間海外でホームステイして、相手の国の言葉がペラペラになって帰ってくる。素晴らしいじゃないですか。本当に色々なことがあると思ひますが、それらを乗り越えて立派に成長して帰ってきますので、逆に預かった子どもたちは自分の子どもと同じようにやれば良い訳です。それぞれに素晴らしいプログラムですので是非皆様の協力をお願いします。

《財団プログラム委員会》



こちらのクラブは毎年米山も財団も寄付を充分にして頂いておりますので心配はしてお

りません。米山については、世話クラブをするよりも日本を理解してもらえるようになると思ひます。昨年ホームカミング制度で来た男性は、2歳で父親を亡くし日本に留学して米山に出会って、福祉の仕事をしたと思ひ、母国に帰ってそういう施設を作ったそうです。今年度の地区大会でその方の卓話がありますので是非聞いてみて下さい。とても感動すると思ひます。

ロータリー財団については色々なプログラムがありますが、ポリオは本当になくなるのか？という質問をされます。日本でも昔は小児麻痺と言って子どもがかかり易い病気でした。今はワクチンがありますので1981年以降は日本での発症はゼロになっております。しかし、世界中ではまだまだなくなりませんので、ビル・ゲイツ財団やユニセフ等も取り組んでいるわけです。予防できるものなら出来るだけ予防して、ポリオがゼロになる日を待ちたいと思ひます。

ガバナー補佐講評

染谷英壽様



来年の40周年には40名にするという目標に向かって頑張ってくださいと思ひます。第6グループの中では春日部に次いで2番目に古い訳ですから、40年間何をやってきたのかを見つめ直すこと。そして次の45周年、50周年に向かって具体的な目標を定め、実現して頂きたいと思ひます。

